

ASEANにおける事業基盤の強化

IoT化や生成AIの普及により、半導体の需要は年々拡大しています。「10年プラン2035」では、半導体・電子部品市場を重点注力市場の一つに定め、グローバルに展開する半導体先進企業の東南アジア地域における設備投資を支えるエンジニアリング企業を目指し、事業基盤の強化に向けた取り組みを進めています。



「ASEAN」における事業基盤の強化

- シンガポールに「アセアン統括部」を設置
- ASEAN拠点横断型協力体制の強化
- 技術ケイパビリティを視覚化する拠点設立
- Design & Buildグローバルスタンダードの確立

● ASEAN圏内のグループ拠点

シンガポールに「アセアン統括部」を設置

グローバルに展開する企業は、サプライチェーンの見直しを進めており、生産拠点を分散させるために東南アジアへの進出を活性化させています。

当社グループの海外拠点の多くは、東南アジアやその周辺に位置しており、特にASEAN圏内には2,000名近くの社員が所属しています。ASEAN圏内における旺盛な建設需要に対応できる体制を構築するため、ASEANのハブであるシンガポールに「アセアン統括部」を立ち上げました。

これまで当社が手掛けてきた海外プロジェクトは、日系のお客さまによるプロジェクトが中心であったことから、海外拠点の統括機能を日本国内に有していましたが、その機能を「アセアン統括部」に移管することにより、今後は非日系のお客さまとの接点も増やしていきたい考えです。

また、近年ではプロジェクトの大型化が進み、一か所の拠点では対応が難しくなりつつあることから、本社部門と海外関係

会社の連携や、海外関係会社間の連携を強化し、拠点を横断したASEAN圏内全体の協力体制の構築を目指します。

あわせて、グローバルコーポレート機能の強化を目的に設置した「管理本部アセアン地域管理部」と協働し、ASEAN圏内のナショナルスタッフを対象としたスキルアッププログラム・キャリアプランの整備や、コストマネジメント体制の強化を進めています。



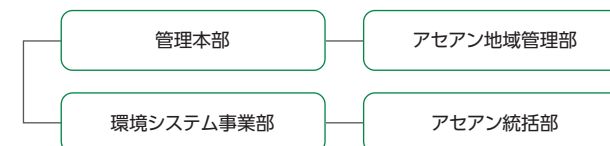
管理本部アセアン地域管理部

非日系のお客さまは日本とは商習慣が異なるケースが多く、プロジェクトの円滑な進行や利益の確保には、プロジェクトに関する社内体制の整備や業務の効率化を進める必要があります。そのためには、人材育成や業務改善にも着手する必要があります。

「アセアン地域管理部」は、本社にある管理本部の海外支店として、東南アジアや南アジアに位置する海外関係会社の運営効率化を支援することを目的に設置されました。

今後、ナショナルスタッフの人材育成や人事施策の企画と立案、業務ルールや業務フローの見直し、受発注契約の支援、経理業務効率化や財務戦略の策定を進めていきます。

● 組織図



技術ケイパビリティを視覚化する拠点設立

2023年4月、本社オフィスにTAIKISHA INNOVATION SITE Alkawa(神奈川県愛川町)のサテライト施設「TAIKISHA INNOVATION GATE Shinjuku」をオープンしました。この施設は当社の技術を体感できる「ゲート」となり、コミュニケーションの幅を広げ、社内外のソリューションの融合や次のイノベーションの発掘につなげることを目的としています。

現在稼働中の「INNOVATION GATE」は東京のみですが、順次、東南アジアの拠点にも展開を計画しており、タイ・バンコクやベトナム・ハノイ、シンガポールにも開設予定です。



Design & Buildグローバルスタンダードの確立

海外関係会社の多くはプロジェクト対応を前身として設立された背景から、これまで業務品質や業務ルールは拠点間で標準化がなされておらず、ばらつきが生じていました。グループ内の業務品質の向上と生産性の改善に向けて、業務の標準化や過去事例の蓄積、業務ルールの浸透に取り組んでいます。

特に、技術に関しては、すでに日本国内で使用している設計施工プラットフォームをASEAN圏内の拠点にも展開することにより、業務の効率化や、技術品質の安定化を推進しています。

アセアン統括部・アセアン地域管理部より



アセアン統括部 統括部長
山下 真毅

ASEANのハブであるシンガポールに「アセアン統括部」を立ち上げ、これまで日本国内に有していた海外拠点の統括機能を移管しました。今後は、日系のお客さまだけでなく、欧米系や現地の非日系のお客さまとの接点も増やしていきたいと考えています。ASEAN圏内の2,000名近い仲間たちとともに、近年大型化が進むプロジェクトを確実に進行させるため、本社部門と海外関係会社の縦の連携や、海外関係会社間の横の連携を強め、拠点を横断したASEAN全域の協力体制を強化します。あわせて、「アセアン地域管理部」と協働して、受発注に関する契約条件などのリスク管理の強化を図りながら、さらなる売上拡大と収益性の改善を目指します。



アセアン地域管理部 部長
一宮 義明

ASEANでの旺盛な建設需要に対応して、事業部のさらなる売上拡大・収益性改善に向けた取り組みを支えるべく、グローバルコーポレート機能をシンガポールに移管しました。各国の拠点に展開しているバックオフィス機能の強化を図りながら、特に欧米系や現地系の取引が今後拡大することを踏まえて、拠点間が連携・協力する体制の構築を進め、グループ全体としての組織力の向上を図っていきます。

欧州市場でのプレゼンス向上に向けた取り組み

世界の四輪市場の市場規模は新型コロナウイルス感染症拡大以前の水準に回復しており、特に欧州では安定した需要が見込まれています。四輪市場における当社のプレゼンスを維持・向上させるため、欧州顧客ポートフォリオの拡大に向けた取り組みを進めています。また、塗装設備だけでなく、最適自動化システムや、生産環境設備と生産ライン設備の一括納入も視野に入れた事業活動を展開しています。

「欧州顧客ポートフォリオ」の拡大

- 納入実績拡大と認知度向上
- 欧州市場での運営体制強化と拡充展開（サプライチェーン協業、アライアンス体制構築）
- 欧州環境規制に適合した技術提案

なぜ欧州市場なのか？

当社グループにとって、欧州市場は戦略的に重要な市場であると認識しています。

これまで、自動車の塗装工場には、欧州で生まれ標準化された技術が多く採用されてきました。さらに、世界の中でも環境規制が先行する欧州には、カーボンニュートラルの実現に向けた高度な技術ニーズが存在しています。今後も欧州は自動車

産業の技術革新をリードする存在であり、欧州が起源となる技術革新が世界標準となっていくことが予想されます。

こうした背景から、当社グループが「産業革新」を支えるエンジニアリングサービスをグローバルに展開していくために、欧州市場におけるプレゼンスの向上に向けた取り組みを進めています。

納入実績拡大と認知度向上

現在、欧州の自動車メーカーより、フルターンキー方式（設計から引き渡しまでの全工程を担う方式）の大型プロジェクトを受注しています。

長年、日系自動車メーカーへ高度な塗装品質を生み出す塗装設備を提供してきた実績に加え、当社が保有する要素技術や、品質・環境マネジメントシステムの運用において、お客さま

から高い評価を受けたことが、本プロジェクトの受注に結び付きました。

本プロジェクトに参画することにより、欧州市場における当社のプレゼンスの向上に大きく寄与することを期待していま

す。また、欧州の自動車メーカーの仕様やニーズへの理解を深め、他の自動車メーカーからの受注にもつなげていきたいと考えています。

欧州市場での運営体制強化と拡充展開

2024年6月、ドイツ・シュツットガルト近郊のラインフェルデン＝エヒターディングゲンに、当社のグループ会社であるTaikisha Deutschland GmbHを設立しました。Taikisha Deutschland GmbHでは、塗装システムに関する知見を有し、現地の事情に精通したナショナルスタッフと日本人スタッフが活躍しています。現在はサプライチェーン全体で最適な体制

を構築しながら、当社グループの対応領域の拡充へ向け、運営体制強化を図っています。

今後は、技術的ケイパビリティの視覚化を目的とした施設の設置を予定しています。長期的には、環境システム事業とのシナジーにより、「半導体・電子部品」、「バッテリー」市場への参入も視野に入れています。

欧州環境規制に適合した技術提案

欧州は地球規模での気候変動の影響を重く受け止め、世界に先駆けて対策に取り組んでいます。EUは2050年までにカーボンニュートラルの達成を掲げていることから、欧州の自動車業界でも同様の目標が設定されており、VOC（揮発性有機化合物）排出量削減、エネルギー使用量削減や再生可能エネルギーの導入を進めています。

EUでの塗装工場におけるVOC排出規制は、現在45g/m³（自動車1m³当たりのVOC排出規制）ですが、将来的には30g/m³、さらには10-30g/m³になるとも言われています。この規制

を下回るために、塗装ブース用の新たな排気処理システムの提案を進めています。

また、GHG排出量削減の観点からは、ガスの代替エネルギーとして電気を用いたシステムや、当社固有の技術であるi-Dry Scrubberやe-RTOの提案を行っています。

これらの省エネルギー技術や、欧州規制に合致した環境負荷低減技術を活用した提案を行うことで、カーボンニュートラルの実現に貢献するソリューションの提供に注力しています。

今後に向けて

欧州は、自動車塗装の分野で世界トップシェアを持つ競合企業が本拠を構える市場です。こうしたフィールドにあって、当社は、主要自動車メーカーとのパートナーシップを強化するとともに、自動化技術を駆使し、塗装工場を一括で請け負える

サプライヤーとしての地位の確立を目指します。あわせて、省エネルギー技術や欧州規制に合致した環境負荷低減技術を活用し、カーボンニュートラルの実現に貢献するソリューションを提供していきます。



Taikisha Deutschland GmbHより

2024年の設立以来、私たちは強固な基盤の整備に尽力してきました。高い水準の事業運営を実現するために、品質マネジメントシステム(ISO9001)と環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を取得しています。

新たなメンバーも迎え入れ、現在では、約20名の意欲的で経験豊かなメンバー全員が、Taikisha Deutschland GmbHの成功と、欧州市場における事業の成長に尽力しています。強力で熱意にあふれたチームを擁するTaikisha Deutschland GmbHは、新たな機会を活用し、この地域で大きな影響力を発揮できる体制を整えています。